

## 非常に効果的と評価した取組一覧

業務	評価項目	取組み内容	非常に効果的とした理由
介護予防ケアマネジメント業務	介護予防ケアマネジメント①	<ul style="list-style-type: none"> <li>三職種でケアプラン原案を確認後、高齢者の抱える課題ごとにファイリングしている。(鷹来)</li> </ul>	<p>高齢者が抱える課題ごとにファイリングすることで、同じ課題を抱えた事例があった際の参考とすることができ、介護予防ケアマネジメント業務の資質向上が見込まれる。また、過去の事例が探しやすく業務の効率化を図ることができ他の業務の量的拡大が見込まれる。</p>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防ケアマネジメント業務の一部業務を受託しているケアマネジャーが担当する事例から課題を地域住民と検討し、地域での集まりの場を創設した。(藤山台・岩成台)</li> </ul>	<p>ケアマネジャーが課題の検討から取組創設まで常に関わったことで、住民主体の取組を知ることができ、介護保険サービス以外の社会資源を活用することができる取組であり、介護予防ケアマネジメント業務及び包括的・継続的ケアマネジメント業務の資質向上が見込まれる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコンの共有フォルダ内にケアプランや基本チェックリスト等を電子データで保管し、エクセルファイルの一覧にリンクを貼って管理している。(味美・知多)</li> </ul>	<p>一覧のリンクをクリックするとケアプラン等が、センター職員であれば、いつでも、だれでも即座に確認ができる取組であり、業務の効率化を図ることができ、他の業務の量的拡大が見込まれる。</p>	

業務	評価項目	取り組み内容	非常に効果的とした理由
総合相談支援業務	相談支援①	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員とケアマネジャー等の顔写真や似顔絵を掲載した冊子を「支援者つながり BOOK」と名付け見える化した。(藤山台・岩成台)</li> </ul>	<p>顔写真や似顔絵を掲載し支援者のつながりを意識した冊子を作成し、地域包括支援センターを介さず連携できる取組であり、業務の効率化を図ることができ、総合相談機能の資質向上が見込まれる。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街を中心とする見守りネットワークを構築し、商店街理事会がチラシを印刷し協力店舗へ掲示依頼を行っている。(中部)</li> </ul>	<p>チラシの印刷や掲示依頼を実施主体となる商店街理事会が中心となって行うことで、連携の意識が高まり、近隣店舗で連携し支援ができる体制となっており、総合相談機能の強化が見込まれる。</p>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>複合的な課題に対応するため関係機関からの意見を参考に連携する際のポイントを記載できる様式を作成し、活用している。(東部)</li> </ul>	<p>職員が複合的な課題の事例に対応する際に、様式を活用することで適切にアセスメントを実施し、関係機関と情報共有・連携することができる取組であり総合相談支援業務の資質向上が見込まれる。</p>
権利擁護業務	虐待対応・養護者支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待対応終了後に関係機関に見守りのポイントや連絡して欲しい事項、時期を記載できる様式を作成し活用している。(西部)</li> </ul>	<p>虐待対応終了後、関係機関と連携を図る際の目安を具体的に記載できる様式を作成し依頼しており、虐待の再発を未然に防止、早期発見ができる取組であり、権利擁護業務の資質向上が見込まれる。</p>

業務	評価項目	取り組み内容	非常に効果的とした理由
包括的・継続的ケアマネジメント業務	包括的・継続的なケア体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かすがいねっと連絡帳でケアマネジャーと医療機関、介護サービス事業所等で個別事例の情報共有や検討ができるよう研修会実施する。(柏原)</li> </ul>	<p>ケアマネジャーがICTを活用し多機関で情報共有・意見交換が円滑にできるよう個別に相談に応じるのではなく、研修会を実施することで一度に担当地域内のケアマネジャーに活用方法を効率的に伝達でき、他の業務の量的拡大が見込まれる。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・かすがいねっと連絡帳を活用し、ケアマネジャー始め介護関係者と医療機関等多様な機関が情報共有や事例検討を実施している。(坂下、高蔵寺)</li> </ul>	<p>かすがいねっと連絡帳により、個人情報保護される環境下で多様な機関で情報共有、事例検討を行うことができるよう支援することで在宅医療と介護の連携を円滑に進めることができ、包括的・継続的なケアマネジメント業務の資質向上が見込まれる。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャーと民生委員や地区社会福祉協議会の役員等の地域住民が連携できる体制を構築した。(高森台・石尾台)</li> </ul>	<p>地域ケア会議を活用し、ケアマネジャーと地域住民との意見交換の場を設け、地域包括支援センターを介さずに直接連携できる仕組みが構築できており、他の業務の量的拡大が見込まれる。</p>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャーと地域住民が災害対策について検討する会議を実施し、災害時の事業運営や担当する高齢者の情報共有の方法等を検討するきっかけとなった。(高蔵寺)</li> </ul>	<p>災害対策の会議の場を設け、ケアマネジャーの役割の理解を進め、ケアマネジャーと地域住民がつながる機会となった。また、災害時の事業運営等を事業所内で今後検討するきっかけともなり、包括的・継続的ケアマネジメント業務の資質向上が見込まれる。</p>

業務	評価項目	取り組み内容	非常に効果的とした理由
地域ケア会議	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ケア会議を通じて地域で実施している三世代交流会にて「みまもりあいアプリ」を活用した搜索模擬訓練を実施した。(松原)</li> </ul>	<p>アプリを利用することで認知症に関心が薄い若年層や子どもに興味関心を持ってもらうことができ、また、地域が実施する交流会に参画し、市の施策を活用したことで一から企画・運営するより効率的に認知症についての理解を地域へ広めることができる取組となっている。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインで地域ケア会議を開催した。(東部)</li> </ul>	<p>オンラインでの開催は新型コロナウイルス感染拡大時や対面だと日程的に参加が難しい方も地域ケア会議に参加できる取組みである。また、今後対面とオンラインを組み合わせて開催する等開催方法の選択肢を広げる取組となっている。</p>